

各種連絡事項

審判員および試合者のみなさん

1 試合・審判規則

試合・審判は、全日本剣道連盟試合・審判規則と同細則に準拠し実施する。

つばぜり合いからの解消時の反則行為（十分に間合いを取らない、相手の竹刀を抑える払う、自分の竹刀を開くなど）については、本大会では、1回注意を行い、2回目から反則とする。

2 試合方法

1次トーナメント、2次トーナメント、決勝トーナメントを行う。

1次トーナメントは各部門のベスト8まで行い、部門ごとに8名を選出する。

2次トーナメントは、1次トーナメントで敗退した選手の敗者復活戦を行い、各部門ごとに8名を選出する。

決勝トーナメントは、1次トーナメントと2次トーナメントで選出された16名でトーナメント戦を行う。

3 1次トーナメントおよび2次トーナメント

試合時間は、2分間。時間内に勝負が決しない場合、**延長戦**を行う。

延長戦は2分間で1回だけ、延長戦で勝敗が決しない場合は、**選手同士で交互に切り返し**を行い、**判定**で勝敗を決する。

1次トーナメントで敗退した選手は、2次トーナメントの組合せ抽選を行うので、ステージ脇の**受付所**に行くこと。

2次トーナメントについての詳細は、放送でアナウンスする。

4 決勝トーナメント

試合時間は、3分間。時間内に勝負が決しない場合、**延長戦**を行う。

延長戦は2分間区切りとし、**勝敗が決するまで**行う。

延長2回の後試合場内で深呼吸、その後2回の延長戦後に水分補給とする。

5 同一選手の試合が連続する場合

2分間の休憩をとる、選手が申し出た場合は時間を待たずに始めても良い

6 感染症予防対策

試合で面を装着しているときは面マスクまたはシールドのいずれかを着用していること。

（持参していない場合は、出店ブースにて購入可能です）

一定時間ごとに会場内の換気を行う。（窓ぎわの座席の方はご協力をお願いします）

7 竹刀の点検と予備竹刀の携行

竹刀の点検は各団体指導者、選手自身が責任をもって行うこと、試合中の破損に備えて2本以上の竹刀を携行すること。

8 審判員

2試合終了ごとの押し出し方式とし、主審を務めた後交代する。

順序は、各試合場の審判主任の指示に従うこと。

自身が指導している団体の選手が試合をするとき、他の審判と一時的に交代すること。

試合者および応援者のみなさん

1 岩手県営武道館内は**土足厳禁**です、入場の際は**各自で準備していきた靴袋**にいらしてください。

2 各感染症が流行している事が想定されますので、入場前に各自検温するとか体調観察をする等の**予防対策**をしてください。

3 燃料高騰の折、館内暖房は午前中の2時間のみとさせていただきます。各自**防寒対策**をお願いします。

4 **大会プログラム販売**について、2階出店ブースにて販売しております。

5 **お弁当注文の方**、お弁当はステージ脇の引換所にてお渡しします。